

第112回委員長会議 議事録

平成30年2月10日(土) - 2月11日(日)

東京都文京区 東京都立工芸高等学校視聴覚室

○司会進行 塚崎 邦嗣

○部長挨拶 藤田 光司

災害についてお見舞い申し上げます。本年度も選抜大会を残すところとなっております。全国の委員長様のご協力のもとありがとうございます。重要な課題が山積しておりますが、慎重審議のうえ会議進行よろしく願いいたします。

○出席者

2日間出席 42都道府県 2日間委任状 4県 1日出席 1県 1日委任状 1県
定数 2 / 3 をこえており開催成立

○議事録署名

山形県専門委員長 佐藤 真 大分県専門委員長 橋本 文一

規約により部長が次第に従い司会進行

1. 審議事項

(1) 平成29年度中間決算 (案)

○今後の支出見込み、繰越についての説明

→承認

(2) 平成29年度事業報告 (案)

→承認

(3) 平成32年度総合体育大会について

○経緯説明

北関東ブロック開催不可の経緯、北信越ブロック代替え不可、各専門部での大害開催地確保についての説明、長野県への打診の経緯、石川県での受け入れまでについての経緯説明と状況説明。

○ 石川県開催費用見込み

当初、長野で計算していたよりも費用が掛かる。発走機、電子計時、写真判定等が必要。そういった説明は全国高体連へおこない、全国高体連からの支出を増やしてもらおう交渉をおこなう。費用を圧縮しながら選抜大会並みの規模で2600万円見込み。開催にあたり全国高体連からの補助、開催市町からの補助(300万円)等を除いて専門部で870万円支出が必要となる。

○ 加盟校徴収金について

H31年度より加盟校徴収金を1校19000円+選手登録数×1000円としたい。

H32年度総体を開催にあて生徒へ還元する。また、H33年度以降も総体開催自治体への助成にあて開催自治体の負担を減らし、最終的には受益者である生徒へ還元する目的として利用する。なお、他の競技(6競技)でも本専門部と同様に考えている。

「大阪府よりの事前質問・意見」

1. 全国高体連への負担を求められないか。仮に支出できれば今後の開催自治体が負担しなくなるのではないか。

回答：

全国高体連本体の保険費等を切り崩し7億円拠出している。不測の事態に備えながらの本体からのギリギリの支出であると説明を受けている。また、この大会限りの緊急措置。予算を様々圧縮しながら安全確保とギリギリでおこなっている。今後の開催自治体へも徴収金より費用負担をおこなう。

2. 個人負担より、企業大学へ働き掛けてはどうか。

回答：

企業等の広告を集める努力を行う。しかし、大学から大口確保は難しい。(ほかの種目にも出さなければならなくなるため。)

3. 宿泊費に上乘せし、その分を JTB から専門部へ入れてもらうのはどうか。

回答：

処理上難しい。

4. 個人登録費として徴収するのか。

回答：

あくまでも、徴収金の算出方法であり会計処理はこれまで同様で運用可能であ

ると考える。

5. 平成31年度は1・2年、平成32年度より全学年対象について

回答：

平成31年度から全学年対象とする。

6. 徴収名目について検討してほしい。

回答：

4. と同様

7. 総体参加費等を上乘しては

回答：

全国高体連での一律設定金額であり変更は容易ではない。ブロックに関しては会計処理上難しい。

8. 平成33年度以降の用途

回答：

総体開催費（競技役員等の旅費）として予算項目を計上する。

○ 理事長より

予算削減に努めながらも公正・安全を確保できる大会運営のために、お願いしたい。

● 意見

- ・名目を検討してほしい。
- ・インターハイに出場する選手限定で徴収してはどうか。参加費等へ
- ・期間限定では厳しい、参加費はすべての競技で共通、先の見通しがないと徴収金は上げられない。

「沖縄県よりの事前質問・意見」

1. 高体連の危機感が見えない。安易に考えているように思う。各省庁への陳情働きかけは。全国高体連本体より更なる支出が必要である。

回答：

大阪への回答に同じ、さらにスポーツ庁（文部科学省）への陳情等は鋭意行っている。

2. 他の専門部の動向

回答：

同じように負担を求められている。開催できない、しないという意向の専門部もある。本体は開催してほしい意向である。開催しないことによる弊害が大きい。

3. H32年度に限りの予算編成か。開催規模を縮小する必要性があるのではないか。縮小した場合、今後の受け入れ自治体もそれに倣うのではないか。

回答：

H32年度限定。ブロック持ち回りは崩さない。立哨等の人件費削減、開会式やらないなど（予算の限りやりたい）国体のような形式、テント出さない（インカレ方式）等。

4. 専門部が負担すべきなのか疑問。

回答：（これまでの回答の通り）

5. 対象はマネージャや顧問もか？

回答：

選手対象

6. H32年度以降の用途不明、JCF登録も必要、学校への説明が難しい。

回答：（これまでの回答の通り）

● 意見

- ・全国高体連の管理能力を疑問視する。
- ・今後は大会規模を縮小する方向になってしまうのではないか
- ・徴収金の予算名目をしっかり立ててほしい。

→承認

(4) H30年度以降のJCF補助金（JKA補助金事業）について

○ 前渡金

今後、前渡金支出不可。自己資金でいったん支出し報告の後に翌年度補助金支給となる。

○ 選抜大会前渡金

選抜は5年計画で前渡金を0とする。(JKAの決定事項) それにむかい、毎年200万円を積立し5年後に1000万円の確保を目指す(これまでの選抜補助金およそ1200万円)

○ 全国合宿・ブロック合宿

ブロック合宿はH30年度より前渡金を0とする(JKAの決定事項)。全国合宿は前渡金0では開催難しい(およそ240万円強の補助金)

☆各ブロックへ質問:

ブロック合宿は前渡金0で各ブロック可能か?

→全ブロック可能

「全国合宿を休止し、ブロック合宿を継続する。」

→承認

将来的に、全国高体連とJKA直結の事業とし補助を受ける方向。

(5) H30年度事業計画(案)について

前段より全国合宿休止

→承認

(6) H30年度予算(案)について

前段より全国合宿予算削除、70周年記念事業予算を明確に盛り込む。

→承認

(7) 日韓高校対抗自転車競技大会(仮称)について

パンフィックリム公開されている報告の通り不参加。日韓での高等学校対象の大会を開催していきたい。選手は強化育成部会で選出、ヤマダグリーンドーム前橋で実施、前橋市より補助金100万円等の補助金あり。専門部より諸費用70万円負担予定。

→承認

(8) H30年度全国高校総体について

○ 参加者数

- ・男子総数450名になるが過去3年はこの人数を超えていない

○ 女子参加について

- ・女子選考はブロックに枠を配分する
- ・ブロックで、配分された枠をもとに選手選考していただく。
- ・種目については希望を第1から4までとり全国に提出
- ・種目については全国で決定しエントリー者に通知
- ・ブロック予選 TT と IP は必ず実施してほしい。

● 意見

- ・都道府県大会のエントリーで比例配分してはどうか
- ・ブロック内での選考方法に悩む
- ・選抜のように登録人数で決定できないか

回答：

- ・ブロック大会のエントリー時点で集約することによりブロック大会前に枠を示すことができる
- ・登録データ（前年度）では人数の変動が大きい。そこで、当該年度で処理をしたい。

「ブロック大会によりエントリー数を比例配分する」

なお、女子定数（6月頭ころ）に出したい。辞退者が出た場合、ブロック選考順位でくりあがる。（総体参加申し込み締め切りまで）

→承認

○ ロードスタート位置

ロードスタートならびの変更

1. シード
2. 開催権
3. ブロック選考順位上位者（都道府県事前位置抽選の並び）
4. その他都道府県事前位置抽選順

の順

→承認

○ 制限タイムについて

出場チーム数、選手数 H29年度 TSP 以外はほぼ設定どおりであったが TSP が大幅超過。よって TSP については制限タイム見直し。

250	電子	51秒100	手動	50秒800
333	電子	1分08秒190	手動	1分07秒890
400	電子	1分22秒190	手動	1分21秒890
500	電子	1分43秒270	手動	1分42秒970

→承認

(9) 各専門部会より

「総務部会より」

○ 二次登録の締め切り変更

9月20に繰り上げて選抜枠を早く確定したい

● 意見

新規登録校について、ライセンス番号の提供は多少先延ばしにしていただけないであろうか。

回答：

猶予を見たいと考える

○ 事故防止のためのガイドライン

さまざまな事故が多種目で起こっている。そこで、専門部として事故防止のガイドラインを策定したい。防げる事故を未然に防ぐためのガイドライン。バージョンアップを目指したご意見をいただきたい。

緊急時の連絡体制策定を都道府県、学校でお願いしたい。

→承認

「競技運営部会」

○ 機材規制検討委員会設立について

これまでのアンケートの結果、機材規制に関する意見が多くよせられている。よって、機材規制をするべきか検討する委員会を設立する。委員の人選について専門委員長の皆様から意見がほしい。総体時に行っていたアンケートを登録時にも行いたい。

→承認

「強化育成部会」

審議事項なし

「広報部会」

○ 業務内容

HP 管理、記録管理、周年行事等を行う

○ 高校新記録（高体連新記録）について

団体種目（TSP、TP など）について学校単位での記録も残したい。情報収集へのご協力を。

○ 70 周年史

過去のインターハイ開催地より回顧、活躍選手等よりの筆耕を依頼する。

→承認

(9) その他

「事務局」

○ 二重登録防止のためお願い

定通専門部との二重登録を注意してほしい。登録時の当該校への説明協力をお願いしたい。

○ Twitter

テスト運用の Twitter を情報速報用として本格運用する。なお、大会期間中のコミュニケ等はこれまで通り LINE 配信

→承認

2. 報告事項

(1) H29 年度福島総体報告

好記録も複数記録され無事に終了できたことことは、皆様のご協力によるもので御礼を申し上げます。

(2) H29 年度全国選抜自転車競技大会について

○ 選抜ケイリンエントリーについて（確認）

ケイリンで特別枠を獲得している選手が所属する都道府県は、その選手がケイリンに出場しても都道府県からさらに一名出場させることができる。

- 選抜ケイリン特別規則について
 - ・ペーサー離脱フィニッシュラインとする。
 - ・男子 50km/h、女子 45km/h による離脱
 - ・ペーサー離脱直後よりスプリント規則（JCF 規則 6 6 条）を適用する。
- 選抜タイムトライアル特別規則
 - ・1 ラウンド制
- メットキャップ関係特別規則
 - メットキャップ使用種目において、マグネット脱着バイザーグラスヘルメットはマグネットバイザーグラスの使用禁止とする。（ヘルメット単体の利用は可）
- プログラムについて
 - ・実数に合わせて印刷をかけたいので事前予約をお願いしたい。
 - ・配宿決定前に宿への直接の要望問い合わせはご遠慮ください。配宿が決定した後に動き出しをお願いしたい

(3) H31 年度総体について

沖縄で正式決定。トラック改修予定。

(4) H30 年度全国選抜自転車競技大会について

熊本地震により熊本競輪場被災。代替え開催地への行政を超えての補助金支出が不可であり平成30年度開催を返上。現在、平成30年度開催地未定。

(5) H31・32・33 年度全国選抜自転車競技大会について

北九州市からの応募あり。

トラック：メディアドーム

ロード：グリーンパーク 1 周 10 km コース予定

会 期：3 月 21 日～24 日まで

あわせて、H30 年度についても北九州市へ依頼中

(6) 協賛企業について

オフィシャルスポンサー等、協賛規定を検討していく

(7) 全国个体連、JCF 関係

- 外部指導者および外部指導者の引率

外部指導者の引率（あくまでも学校が認めた指導者、責任は学校）は都道府県によ

っては認めていない都道府県も存在しているのでそちらに従ってほしい。外部指導者も体罰の防止等求められる責務は同様である。

外部指導者については日本体育協会指導資格、JCF 審判資格、アテンダント資格等を持っていること。移行猶予を考えている。

○ 総体等でのジュニア新記録

ドーピング検査、本人、保護者等の承諾があればドーピング検査を行う。ドーピング検査を行わない場合はジュニア新記録と認定できない。

○ 競技者登録

1月更新となっていることを注意してほしい

○ 高体連登録の抹消

他団体（JBCF など）へ登録する際は高体連登録抹消してください。

(8) 各専門部会より

「競技運営部会」

都道府県大会等でトラックレースの安全地帯確保を。6.5m（ルールの安全地帯5m）落車事故により機材等が飛んだ事例あり。顎紐等のヘルメットの装着状況について再度確認を。

「強化育成」

ジャパンカップホープオープンフルクリテリウムの参加者について。

(9) 賛助会員の状況について

- ・法人43都道府県専門部より43口ご協力いただいている。
- ・個人17名より18口ご協力いただいている。
- ・選抜大会プログラムに芳名予定。

(10) その他

○ 70周年式典および祝賀会開催日程会場（予定）

H31年2月10日（日） オリンピック記念青少年総合センター